

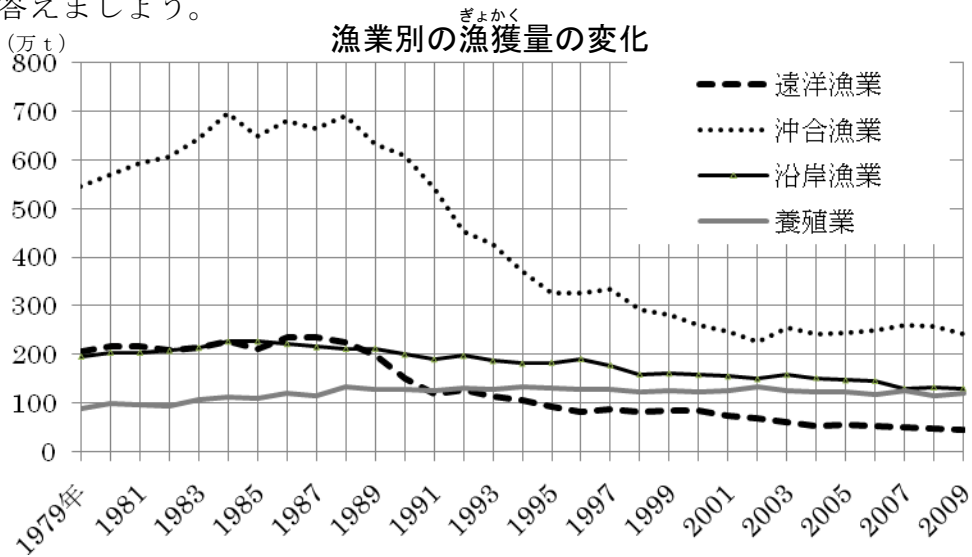
# 小学校5年社会

組 番 氏名

**1** 次の漁業の種類と、とり方・育て方を線で結びましょう。

- 遠洋漁業 . . . 10 t以上の船を使って、数日がかかりで行われる漁業。
- <sup>おきあい</sup>沖合漁業 . . . 遠くの海に出かけて、長い期間にわたって行われる漁業。
- <sup>えんがん</sup>沿岸漁業 . . . 10 t未満の船を使って行う漁や、<sup>ていち</sup>定置あみ、地引きあみ漁業のこと。養しょく業もその一つ。

**2** 下のグラフは、漁業別漁獲量の移り変わりを表しています。これを見て、次の問いに答えましょう。



- (1) 漁獲量が一番多い漁業の種類は何ですか。 ( )
- (2) グラフを見て正しいといえるものに○を付けましょう。
- ( ) どの漁業も 1979 年から年々、漁獲量が減ってきている。
  - ( ) 沖合漁業は 1988 年を境に漁獲量が減ってきている。
  - ( ) 2009 年の漁獲量が一番多いのは、沖合漁業である。
  - ( ) 2009 年の遠洋漁業の漁獲量は、1979 年の漁獲量とほぼ同じである。

# 小学校5年社会

組 番 氏名

## 1

次の漁業の種類と、とり方・育て方を線で結びましょう。

○遠洋漁業

10 t以上の船を使って、数日がかかりで行われる漁業。

○<sup>おきあい</sup>沖合漁業

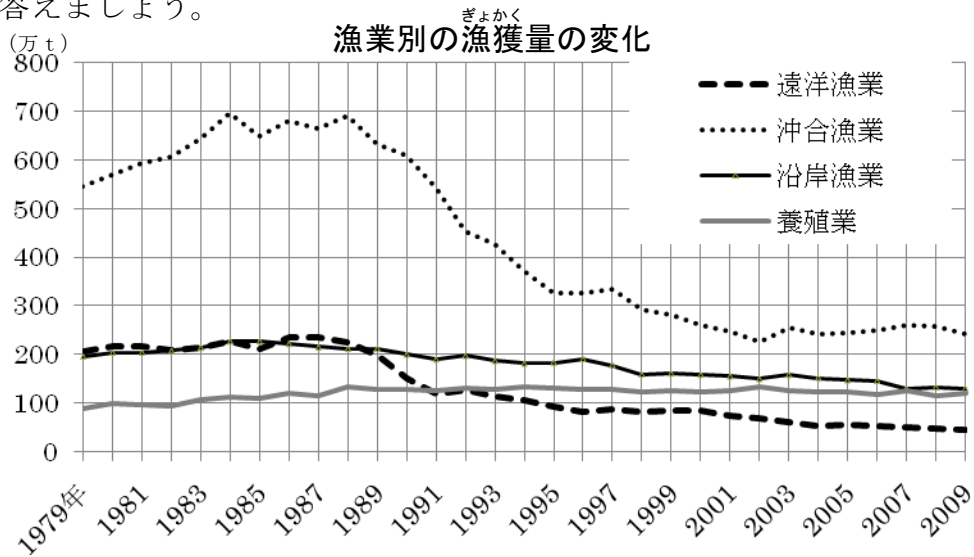
遠くの海に出かけて、長い期間にわたって行われる漁業。

○<sup>えんがん</sup>沿岸漁業

10 t未満の船を使って行う漁や、<sup>ていち</sup>定置あみ、地引きあみ漁業のこと。養しよく業もその一つ。

## 2

下のグラフは、漁業別漁獲量の移り変わりを表しています。これを見て、次の問いに答えましょう。



(1) 漁獲量が一番多い漁業の種類は何ですか。 ( 沖合漁業 )

(2) グラフを見て正しいといえるものに○を付けましょう。

( ) どの漁業も 1979 年から年々、漁獲量が減ってきている。

( ○ ) 沖合漁業は 1988 年頃を境に漁獲量が減ってきている。

( ○ ) 2009 年の漁獲量が一番多いのは、沖合漁業である。

( ) 2009 年の遠洋漁業の漁獲量は、1979 年の漁獲量とほぼ同じである。

# 小学校5年社会

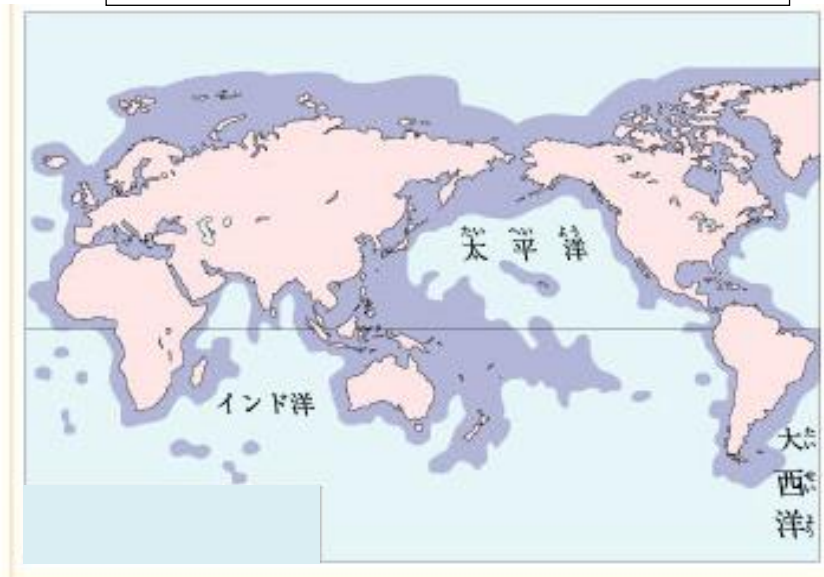
組 番 氏名

**1** 下の問いに答えましょう。

(1) 次の文の ( ) の中に当てはまる言葉を□から選んで書きましょう。

1977年(昭和52年)ころから、外国の船がとる魚の量がきびしく ( ) されました。そのかわり、自国は資源の ( ) や水の汚れの ( ) が求められます。

管理 防止 せいげん



(2) 地図中の ■ は、沿岸から何海里のはん囲ですか。

( ) 海里

(3) 地図中の ■ により、漁獲量ぎょかくりょうが大きく減った日本の漁業は、何漁業ですか。

( ) 漁業

**2** 次の文の ( ) に当てはまる言葉を下の□の中から選んで書きましょう。

日本は、( ) から魚かい類を輸入する一方、最近は、「( ) 漁業」だけではなく、養殖ようしょくや ( ) 漁業など、「つくり育てる漁業」にも力を入れています。各地の ( ) では、さまざまなこころみを行っています。

さいばい とる 漁業協同組合 外国

# 小学校5年社会

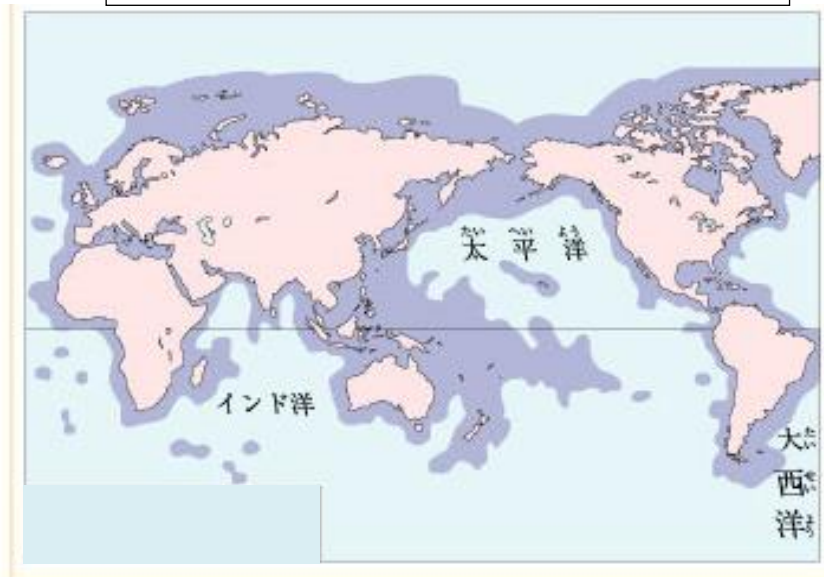
組 番 氏名

**1** 下の問いに答えましょう。

(1) 次の文の ( ) の中に当てはまる言葉を□から選んで書きましょう。

1977年(昭和52年)ころから、外国の船がとる魚の量がきびしく ( **せいげん** ) されました。そのかわり、自国は資源の ( **管理** ) や水の汚れの ( **防止** ) が求められます。

管理 防止 せいげん



(2) 地図中の ■ は、沿岸から何海里のはん囲ですか。

( **200** ) 海里

(3) 地図中の ■ により、漁獲量ぎよかくりょうが大きく減った日本の漁業は、何漁業ですか。

( **遠洋** ) 漁業

**2** 次の文の ( ) に当てはまる言葉を下の□の中から選んで書きましょう。

日本は、( **外国** ) から魚かい類を輸入する一方、最近は、「( **とる** ) 漁業」だけではなく、養殖ようしょくや ( **さいばい** ) 漁業など、「つくり育てる漁業」にも力を入れています。各地の ( **漁業協同組合** ) では、さまざまなこころみを行っています。

さいばい とる 漁業協同組合 外国

# 小学校5年社会

組 番 氏名

1

下の㉠～㉦を漁場でとれた魚が消費者にとどくまでの順になるようにならべかえましょう。

- ㉠ スーパーの人が市場に買いに来る。
- ㉡ 漁師さんが漁港に水あげをする。
- ㉢ 漁港の仲買人さんが発送の準備をする。
- ㉣ 運転手さんが漁港から市場まで輸送する。
- ㉤ 市場で、仲買人さんのせりが行われる。
- ㉥ スーパーにならぶ。

(      →      →      →      →      → ㉥ )

2

次の文は水あげされた魚が消費者にとどくまでのことが書かれています。正しいものには○を、まちがっているものには×を（    ）に書きましょう。

- (    ) 魚の値段は、季節や日にちによって大きなちがいがあるので、仲買人は、どこの市場に出荷したら高く売れるか、情報を手に入れて送る先を決めている。
- (    ) 輸送の際に使用される発泡スチロールなどの容器代は、輸送代などの経費にはふくまれない。
- (    ) 魚は、生きていたほうが高く買ってもらえるので、いけずに酸素を入れられるようにくふうしている輸送用トラックもある。
- (    ) 100年ほど前に製氷技術によって大量の氷を使った輸送が実現し、現在まで輸送方法は全く変わっていない。

# 小学校5年社会

組 番 氏名

1

下の①～⑦を漁場でとれた魚が消費者にとどくまでの順になるようにならべかえましょう。

- ① スーパーの人が市場に買いに来る。
- ② 漁師さんが漁港に水あげをする。
- ③ 漁港の仲買人さんが発送の準備をする。
- ④ 運転手さんが漁港から市場まで輸送する。
- ⑤ 市場で、仲買人さんのせりが行われる。
- ⑥ スーパーにならぶ。

( ③ → ② → ④ → ⑤ → ① → ⑥ )

2

次の文は水あげされた魚が消費者にとどくまでのことが書かれています。正しいものには○を、まちがっているものには×を ( ) に書きましょう。

- ( ○ ) 魚の値段は、季節や日にちによって大きなちがいがあるので、仲買人さんは、どこの市場に出荷したら高く売れるか、情報を手に入れて送る先を決めている。
- ( × ) 輸送の際に使用される発泡スチロールなどの容器代は、輸送代などの経費にはふくまれない。
- ( ○ ) 魚は、生きていたほうが高く買ってもらえるので、いけずに酸素を入れられるようにくふうしている輸送用トラックもある。
- ( × ) 100年ほど前に製氷技術によって大量の氷を使った輸送が実現し、現在まで輸送方法は全く変わっていない。

# 小学校5年社会

組 番 氏名

1

次の文の ( ) にあう言葉を下の□の中から選んで書きましょう。同じ言葉を何度使ってもよいです。

今の私たちの食生活は、輸入された食料が欠かせなくなっています。輸入された食料が ( ) 一方で、国内で生産されているわりあいを示した ( ) が低くなっています。

( ) の国で突然の災害などがおきたら、満足に日本に輸出できないこともあるので、( ) を見直すことが大切です。

輸入先 輸出先 食料自給率 人口密度 増える 減る

2

次の文は何の説明をしているのでしょうか。□から選んで ( ) に書き入れましょう。

わたしたちが食べる食料のうち、国内で生産されているわりあいをしめしたものです。重さや熱量 (カロリー)、生産額からみるものもあります。

( )

遠いところから食料を運んでくるよりも、なるべく住んでいる土地のそばでとられた食料を使うのが望ましいという考え方です。

( )

環境をほごして、人間や動物などが生活しやすいようにすることです。品質のよい食料を生産するためには、水や土などがよい環境であることが必要です。

( )

環境保全 地産地消 食料自給率 専業農家

# 小学校5年社会

組 番 氏名

**1**

次の文の（ ）にあう言葉を下の□の中から選んで書きましょう。同じ言葉を何度使ってもよいです。

今の私たちの食生活は、輸入された食料が欠かせなくなっています。輸入された食料が（ 増える ）一方で、国内で生産されているわりあいを示した（ 食料自給率 ）が低くなっています。

（ 輸入先 ）の国で突然の災害などがおきたら、満足に日本に輸出できないこともあるので、（ 食料自給率 ）を見直すことが大切です。

輸入先 輸出先 食料自給率 人口密度 増える 減る

**2**

次の文は何の説明をしているのでしょうか。□から選んで（ ）に書き入れましょう。

わたしたちが食べる食料のうち、国内で生産されているわりあいをしめしたものです。重さや熱量（カロリー）、生産額からみるものもあります。

（ 食料自給率 ）

遠いところから食料を運んでくるよりも、なるべく住んでいる土地のそばでとられた食料を使うのが望ましいという考え方です。

（ 地産地消 ）

環境をほごして、人間や動物などが生活しやすいようにすることです。品質のよい食料を生産するためには、水や土などがよい環境であることが必要です。

（ 環境保全 ）

環境保全 地産地消 食料自給率 専業農家